

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)
日本・リトアニア共同研究 事後評価
課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名	ピロリ菌関連胃発がんを制御する食習慣と胃内環境の 特定に向けた国際臨床研究
研究開発代表者	鈴木 秀和
代表機関	東海大学

○評価委員会コメント

成果：

- 検体収集を計画通り進め、胃内細菌叢・脂肪酸・マイクロRNA等を対象にした胃がんリスクマーカーに関する包括的な解析を実施した。また、従来困難とされた胃内環境の分析技術を進展させ、今後の予防・診断技術の発展に資する成果を得た。
- 新型コロナウイルス感染症の流行下においても、両国の間でプロトコルの共同策定やオンライン会議等を通じた積極的な研究交流を継続し、日本およびリトアニアの双方で次世代人材の育成に貢献した。
- 日本とリトアニアにおける研究体制を強化し、胃がん研究の国際的基盤を構築した。

課題・改善点：

- 研究開発分担者間の連携体制や役割分担が必ずしも明瞭ではなかったため、今後本研究をさらに継続する際にはそれらをより明瞭にすべきである。